

対象機器：大形風力発電システム、小形風力発電システム、着床式／浮体式洋上風力発電システム

■背景及び課題

- ・日本の設置環境(台風、乱流、地震、低風速、冬季雷など)の考慮が必要である。
- ・新たな技術の標準化－浮体式洋上風車の新規規格の開発。
- ・風力発電の国際認証システムの構築に向けた検討が開始。

■活動方針

1. 安全性・信頼性向上のために日本環境を考慮した基準のIEC規格への反映。
2. 日本技術の優位性を発揮できる標準化分野への積極的な提案。
3. 認証システムを検討する国際会議に参加。国内制度化を検討。

■成果

1. 改正審議段階での日本の設置環境を考慮した改正案を反映した。
2. 国際認証システムに対する国内検討体制を確立した。

■今後の予定

- ・日本の提案を反映するために国際会議への参加を継続。
- ・国際認証システムの国内導入に向けた基盤整備の合意形成を図る。



大形風力発電システム
(三菱重工業殿Webより)